

令和元年度 病院事業決算状況

都道府県名 福井県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	県立病院	2
-	すこやかシルバー病院	3
敦賀市	市立敦賀病院	4
坂井市	坂井市立三国病院	5
越前町	国保織田病院	6
公立小浜病院組合	小浜病院	7
公立小浜病院組合	レイクヒルズ美方病院	8
公立丹南病院組合	丹南病院	9

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	
				病院名	県立病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	86,409 m ²	指定病院の状況	救臨が感へ災地輪		
診療科数	21	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	601	79.5	74.4	77.0
療養	-	-	-	-
結核	6	37.7	30.9	48.9
精神	198	74.9	78.4	64.0
感染症	4	32.4	22.5	15.7
計	809	77.8	74.6	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		11.8	11.8	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	786,740	
決算規模(千円)	437,322,620	
標準財政規模(千円)	252,493,624	
財政力指数	0.41457	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	172.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	88.9
修正医業収益(千円)	19,673,927

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	23,869,240			
1 経常収益	23,869,240			
(1) 医業収益	20,077,827			
入院収益	14,144,835			
外来収益	5,070,542			
診療収入計	19,215,377			
その他医業収益	862,450			
(うち他会計負担金)	403,900			
(2) 医業外収益	3,791,413			
(うち国・都道府県補助金)	19,747			
(うち他会計補助・負担金)	1,487,407			
(うち長期前受金戻入)	2,036,414			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	23,599,198			
2 経常費用	23,495,802			
(1) 医業費用	22,128,249			
職員給与費	10,498,191	52.3	55.7	49.1
材料費	5,378,393	26.8	24.7	29.1
(うち薬品費)	2,734,698	13.6	13.3	16.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,483,322	12.4	11.0	12.7
減価償却費	2,763,339	13.8	9.0	8.4
経費	3,401,819	16.9	23.3	20.7
(うち委託料)	2,335,411	11.6	11.5	11.6
研究研修費	63,806			
資産減耗費	22,701			
(2) 医業外費用	1,367,553			
(うち支払利息)	404,754	2.0	1.4	1.2
(3) 特別損失	103,396			
損益				
経常損益	373,438			
純損益	270,042			
累積欠損金	2,449,781			
経常収支比率	101.6		97.7	98.8
医業収支比率	90.7		88.1	92.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		12.3	9.0
他会計繰入金対医業収益比率	9.4		14.5	10.1
他会計繰入金対総収益比率	7.9		12.4	8.9
実質収益対経常費用比率	93.5		85.7	89.9

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,724,872
1 固定資産	24,352,154
(1) 有形固定資産	23,640,698
(2) 無形固定資産	7,471
(3) 投資その他の資産	703,985
2 流動資産	13,372,718
(1) 現金及び預金	9,565,133
(2) 未収金及び未収収益	3,682,651
(3) 貸倒引当金()	3,199
(4) 貯蔵品	128,133
3 繰延資産	-
負債合計	36,240,150
1 固定負債	26,130,931
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,756,752
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,374,179
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,478,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,499,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	583,589
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,277,451
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,630,570
(1) 長期前受金	33,315,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,684,434
資本合計	1,484,722
1 資本金	1,777,720
2 剰余金	-292,998
(1) 資本金剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	-1,163,577
負債・資本合計	37,724,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,855,462	1,891,307
資本勘定繰入	1,365,024	1,365,024
計	3,220,486	3,256,331

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)		都道府県名	福井県
		市町村・組合名	
		病院名	すこやかシルバー病院
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	7,485 m ²	指定病院の状況	
診療科数	4	看護配置	20:1
許可公営企業		経営形態	指定管理者(代行制)
DPC対象病院	-	類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	100	88.2	84.3	83.8
感染症	-	-	-	-
計	100	88.2	84.3	83.8
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	786,740	
決算規模(千円)	437,322,620	
標準財政規模(千円)	252,493,624	
財政力指数	0.41457	
経常収支比率(%)	96.0	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	13.0
	将来負担比率(%)	172.4

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	817,081			
1 経常収益	817,036			
(1) 医業収益	570,036			
入院収益	492,600			
外来収益	77,436			
診療収入計	570,036			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	247,000			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	212,644			
(うち長期前受金戻入)	24,463			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	45			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	783,843			
2 経常費用	783,843			
(1) 医業費用	738,645			
職員給与費	-	-	55.7	98.9
材料費	-	-	24.7	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	1.1
減価償却費	55,682	9.8	9.0	12.7
経費	682,963	119.8	23.3	34.6
(うち委託料)	-	-	11.5	17.1
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	45,198			
(うち支払利息)	43,725	7.7	1.4	2.9
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	33,193			
純損益	33,238			
累積欠損金	-			
経常収支比率	104.2		97.7	98.9
医業収支比率	77.2		88.1	64.2
他会計繰入金対経常収益比率	26.0		12.3	35.0
他会計繰入金対医業収益比率	37.3		14.5	56.2
他会計繰入金対総収益比率	26.0		12.4	34.4
実質収益対経常費用比率	77.1		85.7	64.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	37,724,872
1 固定資産	24,352,154
(1) 有形固定資産	23,640,698
(2) 無形固定資産	7,471
(3) 投資その他の資産	703,985
2 流動資産	13,372,718
(1) 現金及び預金	9,565,133
(2) 未収金及び未収収益	3,682,651
(3) 貸倒引当金()	3,199
(4) 貯蔵品	128,133
3 繰延資産	-
負債合計	36,240,150
1 固定負債	26,130,931
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	22,756,752
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	3,374,179
(7) リース債務	-
2 流動負債	5,478,649
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,499,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	583,589
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,277,451
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	4,630,570
(1) 長期前受金	33,315,004
(2) 長期前受金収益化累計額()	28,684,434
資本合計	1,484,722
1 資本金	1,777,720
2 剰余金	-292,998
(1) 資本剰余金	870,579
(2) 利益剰余金	-1,163,577
負債・資本合計	37,724,872
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	77.2
修正医業収益(千円)	570,036

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	212,644	212,644
資本勘定繰入	103,503	103,503
計	316,147	316,147

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	敦賀市
				病院名	市立敦賀病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,092 m ²	指定病院の状況	救臨 感 災 輪		
診療科数	21	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	300床以上～400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	330	75.4	77.6	81.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	-	-	-
計	332	75.0	77.1	80.6
平均在院日数(一般病床のみ)		14.2	14.1	14.6

設立団体の状況		
人口(人)	66,165	
決算規模(千円)	32,048,848	
標準財政規模(千円)	16,139,349	
財政力指数	0.93	
経常収支比率(%)	93.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,194,327			
1 経常収益	8,193,537			
(1) 医業収益	7,243,453			
入院収益	4,374,575			
外来収益	2,178,431			
診療収入計	6,553,006			
その他医業収益	690,447			
(うち他会計負担金)	336,593			
(2) 医業外収益	950,084			
(うち国・都道府県補助金)	22,841			
(うち他会計補助・負担金)	440,979			
(うち長期前受金戻入)	328,025			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	790			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,903,171			
2 経常費用	7,859,632			
(1) 医業費用	7,435,588			
職員給与費	3,563,326	49.2	55.7	57.0
材料費	1,566,417	21.6	24.7	24.5
(うち薬品費)	653,470	9.0	13.3	12.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	905,775	12.5	11.0	11.3
減価償却費	538,807	7.4	9.0	9.3
経費	1,715,593	23.7	23.3	22.1
(うち委託料)	716,643	9.9	11.5	11.1
研究研修費	43,162			
資産減耗費	8,283			
(2) 医業外費用	424,044			
(うち支払利息)	73,020	1.0	1.4	1.4
(3) 特別損失	43,539			
損益				
経常損益	333,905			
純損益	291,156			
累積欠損金	251,183			
経常収支比率	104.2		97.7	96.4
医業収支比率	97.4		88.1	88.1
他会計繰入金対経常収益比率	9.5		12.3	11.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.7		14.5	13.3
他会計繰入金対総収益比率	9.5		12.4	11.5
実質収益対経常費用比率	94.4		85.7	85.3

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,978,897
1 固定資産	6,935,948
(1) 有形固定資産	6,748,490
(2) 無形固定資産	50,522
(3) 投資その他の資産	136,936
2 流動資産	4,042,949
(1) 現金及び預金	2,754,724
(2) 未収金及び未収収益	1,279,958
(3) 貸倒引当金()	13,045
(4) 貯蔵品	21,312
3 繰延資産	-
負債合計	8,687,572
1 固定負債	4,233,313
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,842,308
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,331,564
(7) リース債務	59,341
2 流動負債	1,258,531
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	405,596
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	248,234
(6) リース債務	41,070
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	543,703
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,195,728
(1) 長期前受金	10,410,756
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,215,028
資本合計	2,291,325
1 資本金	2,433,060
2 剰余金	-141,735
(1) 資本金剰余金	109,448
(2) 利益剰余金	-251,183
負債・資本合計	10,978,897
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	92.9
修正医業収益(千円)	6,906,860

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	777,572	777,572
資本勘定繰入	268,775	268,775
計	1,046,347	1,046,347

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	3.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	坂井市
				病院名	坂井市立三国病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,291 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	12	看護配置	10:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	105	74.3	61.2	60.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	105	74.3	61.2	60.3
平均在院日数(一般病床のみ)		21.8	17.6	15.3

設立団体の状況		
人口(人)	90,280	
決算規模(千円)	45,834,125	
標準財政規模(千円)	22,259,779	
財政力指数	0.66	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.3
	将来負担比率(%)	78.4

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	81.5
修正医業収益(千円)	1,580,664

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,001,686			
1 経常収益	2,001,686			
(1) 医業収益	1,636,396			
入院収益	934,415			
外来収益	579,028			
診療収入計	1,513,443			
その他医業収益	122,953			
(うち他会計負担金)	55,732			
(2) 医業外収益	365,290			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	332,662			
(うち長期前受金戻入)	2,762			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,058,341			
2 経常費用	2,056,665			
(1) 医業費用	1,938,394			
職員給与費	1,098,724	67.1	55.7	61.3
材料費	237,452	14.5	24.7	17.6
(うち薬品費)	122,977	7.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	89,885	5.5	11.0	8.2
減価償却費	141,181	8.6	9.0	10.2
経費	456,233	27.9	23.3	30.5
(うち委託料)	214,667	13.1	11.5	13.0
研究研修費	4,804			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	118,271			
(うち支払利息)	46,048	2.8	1.4	1.6
(3) 特別損失	1,676			
損益				
経常損益	-54,979			
純損益	-56,655			
累積欠損金	2,666,503			
経常収支比率	97.3		97.7	96.5
医業収支比率	84.4		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	19.4		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	23.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	19.4		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	78.4		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,228,825
1 固定資産	2,928,701
(1) 有形固定資産	2,887,518
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	41,183
2 流動資産	300,124
(1) 現金及び預金	889
(2) 未収金及び未収収益	293,768
(3) 貸倒引当金()	1,383
(4) 貯蔵品	6,850
3 繰延資産	-
負債合計	2,847,784
1 固定負債	2,347,144
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,347,144
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	452,819
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	166,073
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	56,882
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	95,363
(8) 未払金及び未払費用	134,364
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	47,821
(1) 長期前受金	71,238
(2) 長期前受金収益化累計額()	23,417
資本合計	381,041
1 資本金	3,047,544
2 剰余金	-2,666,503
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,666,503
負債・資本合計	3,228,825
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	308,394	388,394
資本勘定繰入	111,606	111,606
計	420,000	500,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	162.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	越前町
				病院名	国保織田病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種	該当	
建物面積	4,216 m ²	指定病院の状況	救		
診療科数	11	看護配置	10	: 1	
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	-	類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	55	89.1	83.3	85.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	89.1	83.3	85.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.0	12.0

設立団体の状況		
人口(人)	21,538	
決算規模(千円)	13,626,076	
標準財政規模(千円)	7,445,088	
財政力指数	0.34	
経常収支比率(%)	98.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.1
	将来負担比率(%)	16.2

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	304,510			
1 経常収益	304,510			
(1) 医業収益	36,294			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	36,294			
(うち他会計負担金)	36,294			
(2) 医業外収益	268,216			
(うち国・都道府県補助金)	887			
(うち他会計補助・負担金)	93,384			
(うち長期前受金戻入)	23,902			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	302,530			
2 経常費用	302,530			
(1) 医業費用	141,170			
職員給与費	-	-	55.7	72.6
材料費	-	-	24.7	15.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	9.5
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	5.6
減価償却費	96,951	267.1	9.0	11.1
経費	44,120	121.6	23.3	31.9
(うち委託料)	3,821	10.5	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	99			
(2) 医業外費用	161,360			
(うち支払利息)	11,360	31.3	1.4	1.7
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	1,980			
純損益	1,980			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.7		97.7	97.4
医業収支比率	25.7		88.1	75.6
他会計繰入金対経常収益比率	42.6		12.3	23.8
他会計繰入金対医業収益比率	357.3		14.5	32.6
他会計繰入金対総収益比率	42.6		12.4	23.9
実質収益対経常費用比率	57.8		85.7	74.2

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,515,766
1 固定資産	1,266,465
(1) 有形固定資産	1,266,358
(2) 無形固定資産	107
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	249,301
(1) 現金及び預金	247,046
(2) 未収金及び未収収益	2,255
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	904,832
1 固定負債	474,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	474,925
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	79,690
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,314
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,376
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	350,217
(1) 長期前受金	598,690
(2) 長期前受金収益化累計額()	248,473
資本合計	610,934
1 資本金	329,311
2 剰余金	281,623
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	281,623
負債・資本合計	1,515,766
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	95,467	129,678
資本勘定繰入	51,107	19,046
計	146,574	148,724

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	公立小浜病院組合
				病院名	小浜病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	32,339 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	20	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	対象	類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	296	76.5	78.9	89.6
療養	50	81.4	91.6	74.9
結核	8	1.1	5.3	5.7
精神	100	80.9	80.7	81.8
感染症	2	0.7	-	-
計	456	76.3	79.0	82.8
平均在院日数(一般病床のみ)		15.7	15.5	14.8

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	90.5
修正医業収益(千円)	6,785,773

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,555,507			
1 経常収益	8,555,507			
(1) 医業収益	6,959,772			
入院収益	4,407,488			
外来収益	2,100,559			
診療収入計	6,508,047			
その他医業収益	451,725			
(うち他会計負担金)	173,999			
(2) 医業外収益	1,595,735			
(うち国・都道府県補助金)	41,704			
(うち他会計補助・負担金)	449,923			
(うち長期前受金戻入)	135,812			
(うち資本費繰入収益)	277,072			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,644,237			
2 経常費用	8,644,237			
(1) 医業費用	7,493,954			
職員給与費	3,798,785	54.6	55.7	54.0
材料費	1,432,269	20.6	24.7	26.9
(うち薬品費)	685,117	9.8	13.3	14.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	648,059	9.3	11.0	12.2
減価償却費	610,459	8.8	9.0	7.9
経費	1,545,879	22.2	23.3	19.2
(うち委託料)	459,127	6.6	11.5	9.3
研究研修費	103,070			
資産減耗費	3,492			
(2) 医業外費用	1,150,283			
(うち支払利息)	163,232	2.3	1.4	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-88,730			
純損益	-88,730			
累積欠損金	2,131,092			
経常収支比率	99.0		97.7	98.8
医業収支比率	92.9		88.1	92.0
他会計繰入金対経常収益比率	7.3		12.3	9.8
他会計繰入金対医業収益比率	9.0		14.5	11.1
他会計繰入金対総収益比率	7.3		12.4	9.9
実質収益対経常費用比率	91.8		85.7	89.1

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,732,488
1 固定資産	11,277,046
(1) 有形固定資産	10,865,215
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	403,000
2 流動資産	1,455,442
(1) 現金及び預金	101,708
(2) 未収金及び未収収益	1,306,313
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	43,002
3 繰延資産	-
負債合計	11,973,421
1 固定負債	7,594,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,594,799
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,611,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	671,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	340,341
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	562,057
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,766,814
(1) 長期前受金	3,710,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,943,417
資本合計	759,067
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-2,390,078
(1) 資本剰余金	406,728
(2) 利益剰余金	-2,796,806
負債・資本合計	12,732,488
不良債務	485,057
実質資金不足額	485,057
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	608,597	623,922
資本勘定繰入	405,003	277,072
計	1,013,600	900,994

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	485,057	6.2
平成30年度	243,494	3.2
平成29年度	51,915	0.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.9
健全化法上の資金不足額(千円)	485,057
健全化法上の資金不足比率(%)	5.9
地財法上の資金不足額(千円)	485,057
地財法上の資金不足比率(%)	5.9

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	公立小浜病院組合
				病院名	レイクヒルズ美方病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,562 m ²	指定病院の状況			
診療科数	9	看護配置	15:1		
許可公営企業		経営形態	直営		
DPC対象病院	-	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	42	83.9	82.6	86.9
療養	58	88.0	92.1	88.2
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	100	86.3	88.1	87.6
平均在院日数(一般病床のみ)		39.0	37.5	36.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	80.0
修正医業収益(千円)	811,328

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,114,849			
1 経常収益	1,114,849			
(1) 医業収益	811,328			
入院収益	622,986			
外来収益	167,831			
診療収入計	790,817			
その他医業収益	20,511			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	303,521			
(うち国・都道府県補助金)	3,219			
(うち他会計補助・負担金)	200,655			
(うち長期前受金戻入)	21,199			
(うち資本費繰入収益)	74,329			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,070,345			
2 経常費用	1,070,345			
(1) 医業費用	1,013,836			
職員給与費	612,030	75.4	55.7	61.3
材料費	108,212	13.3	24.7	17.6
(うち薬品費)	77,263	9.5	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,505	3.4	11.0	8.2
減価償却費	79,319	9.8	9.0	10.2
経費	212,193	26.2	23.3	30.5
(うち委託料)	127,995	15.8	11.5	13.0
研究研修費	1,242			
資産減耗費	840			
(2) 医業外費用	56,509			
(うち支払利息)	24,808	3.1	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	44,504			
純損益	44,504			
累積欠損金	966,376			
経常収支比率	104.2		97.7	96.5
医業収支比率	80.0		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	18.0		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	24.7		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	18.0		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	85.4		85.7	80.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,732,488
1 固定資産	11,277,046
(1) 有形固定資産	10,865,215
(2) 無形固定資産	8,831
(3) 投資その他の資産	403,000
2 流動資産	1,455,442
(1) 現金及び預金	101,708
(2) 未収金及び未収収益	1,306,313
(3) 貸倒引当金()	349
(4) 貯蔵品	43,002
3 繰延資産	-
負債合計	11,973,421
1 固定負債	7,594,799
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	7,594,799
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	2,611,808
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	671,309
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	340,341
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,000,000
(8) 未払金及び未払費用	562,057
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,766,814
(1) 長期前受金	3,710,231
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,943,417
資本合計	759,067
1 資本金	3,149,145
2 剰余金	-2,390,078
(1) 資本剰余金	406,728
(2) 利益剰余金	-2,796,806
負債・資本合計	12,732,488
不良債務	485,057
実質資金不足額	485,057
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	192,828	200,655
資本勘定繰入	51,717	77,329
計	244,545	277,984

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	485,057	6.2
平成30年度	243,494	3.2
平成29年度	51,915	0.7

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	39.9
健全化法上の資金不足額(千円)	485,057
健全化法上の資金不足比率(%)	5.9
地財法上の資金不足額(千円)	485,057
地財法上の資金不足比率(%)	5.9

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に
 占める割合をいう。

病院事業決算状況 (令和元年度)				都道府県名	福井県
				市町村・組合名	公立丹南病院組合
				病院名	丹南病院
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,070 m ²	指定病院の状況	救臨感へ災輪		
診療科数	16	看護配置	7:1		
許可公営企業		経営形態	指定管理者(利用料金制)		
DPC対象病院	対象	類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地区医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和元年度	平成30年度	平成29年度
一般	175	72.3	74.2	74.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	-	-
計	179	70.7	72.5	72.7
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	12.4	12.7

設立団体の状況		
人口(人)	-	
決算規模(千円)	-	
標準財政規模(千円)	-	
財政力指数	-	
経常収支比率(%)	-	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	-
	将来負担比率(%)	-

修正医業収支の状況	
修正医業収支比率(%)	-
修正医業収益(千円)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	403,545			
1 経常収益	403,545			
(1) 医業収益	177,663			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
その他医業収益	177,663			
(うち他会計負担金)	177,663			
(2) 医業外収益	225,882			
(うち国・都道府県補助金)	2,160			
(うち他会計補助・負担金)	31,296			
(うち長期前受金戻入)	104,727			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	533,392			
2 経常費用	533,392			
(1) 医業費用	357,574			
職員給与費	2,346	1.3	55.7	61.3
材料費	-	-	24.7	17.6
(うち薬品費)	-	-	13.3	8.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.0	8.2
減価償却費	295,859	166.5	9.0	10.2
経費	59,369	33.4	23.3	30.5
(うち委託料)	5,460	3.1	11.5	13.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	175,818			
(うち支払利息)	17,300	9.7	1.4	1.6
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損益	-129,847			
純損益	-129,847			
累積欠損金	2,126,914			
経常収支比率	75.7		97.7	96.5
医業収支比率	49.7		88.1	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	51.8		12.3	16.3
他会計繰入金対医業収益比率	117.6		14.5	20.1
他会計繰入金対総収益比率	51.8		12.4	16.7
実質収益対経常費用比率	36.5		85.7	80.7

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	5,232,125
1 固定資産	4,849,848
(1) 有形固定資産	4,849,848
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	382,277
(1) 現金及び預金	347,791
(2) 未収金及び未収収益	34,486
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	3,135,919
1 固定負債	1,267,788
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,267,788
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	450,442
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	431,928
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	18,514
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,417,689
(1) 長期前受金	2,023,778
(2) 長期前受金収益化累計額()	606,089
資本合計	2,096,206
1 資本金	746,619
2 剰余金	1,349,587
(1) 資本剰余金	3,476,501
(2) 利益剰余金	-2,126,914
負債・資本合計	5,232,125
不良債務	-
実質資金不足額	-
資金不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	209,102	208,959
資本勘定繰入	86,874	86,874
計	295,976	295,833

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和元年度	-	-
平成30年度	-	-
平成29年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	1197.2
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。